

検査成績評定表（機械）

文書番号		検査員		印	課長	
------	--	-----	--	---	----	--

契約件名				検査種類			
				完了 一部完了 既済 中間 () () ()			
履行場所			契約の相手方（所在地）				
契約金額		契約確定日		履行期限			

評定項目	細目		重要度	評定点	×重要度	小計点	合計点
施工管理	施工管理		1 6			A	F=A+B+E
	品質管理		1 6			B	
	出来ばえ	出来形 (機能・試験)	3 6		C	E=C+D	
		出来ばえ	1 6		D		

☐ 再検査			工事成績評定点(30点満点換算)					合計点
			検査種類	施工管理	品質管理	出来ばえ	計	
特記事項								
			完了					
			最終成績					

備考 1 各細目ごとの評定点は、それぞれ100点満点とし、小数点以下第二位を四捨五入する。
2 各評定点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第二位を四捨五入し、小計点及び合計点を算出する。
3 再検査を実施した場合は、再検査欄の□をチェックする。
4 合計点に3/10を乗じ、工事成績評定点を算出する。この値を小計点に応じて、各細目ごとの工事成績評定点を算出する(小数点以下第二位を四捨五入)。

検査成績評定項目別評定表(機械)

評定項目	細目	評価対象項目	
施工管理	施工管理	☐ 現場の組織・体制が明確で、かつ現場代理人・主任技術者等が、契約内容を熟知している。	
		☐ 施工関係書類が過不足なく作成されており、現場で確認できる。(材料検査報告書、総合調整計画書等)	
☐ 産業廃棄物処理の書類が過不足なく作成されている。			
☐ 施工計画・施工要領書は必要な項目が記載されている。			
☐ 施工計画・施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。			
☐ 他との調整は、十分に行っており、重要なものは記録している。			
☐ 契約内容の疑義・不整合について監督員と協議している。			
☐ 契約内容の変更について監督員と協議している。			
☐ 工事記録写真が工種別に過不足なく撮影され、整理されている。			
☐ 工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。			
☐ 官公庁届出など必要関係書類が過不足なく作成されている。			
☐ 関係法令に適合しているか確認を行い、官公庁と協議し適切に対応している。			
☐ ISO9001対応工事において品質管理計画表が適切に作成されている。			
☐ 施工管理及び記録の整理に創意工夫がみられる。			
☐ ()			
☐ ()			
評定点		／	× 100 = 点
品質管理	品質管理	☐ 資材の品質や形状・規格を証明する資料が過不足なく作成されている。	
		☐ 社内検査を実施し、記録が過不足なく作成されている。	
		☐ 承諾図書が過不足なく作成されていて内容も適切である。	
		☐ 耐震計算書、防振計算書、その他計算書等が過不足なく作成されていて内容も適切である。	
		☐ 構造上重要な部分の強度が確保されており、それを証明する資料が過不足なく作成されている。	
		☐ 防錆・防食・防水・区画処理などに対する配慮が適切である。	
		☐ 品質管理に関する工事記録写真が過不足なく撮影され、整理されている。	
		☐ 主要機器の工場試験記録が過不足なく作成されている。	
		☐ 水圧・満水・気密・絶縁試験など、施工の品質確認方法が適切である。	
		☐ 水質・系統・流量及び機能など、試運転時の確認方法が適切である。	
		☐ 機器・器具の動作確認、運転調整記録、測定記録などが過不足なく作成されている。	
		☐ 品質管理及び記録の整理に創意工夫がみられる。	
		☐ ()	
		評定点	／

検査成績評定項目別評定表(機械)

評定項目	細目	評価対象項目
施工	出来形	☐ 各材質・規格及び寸法は設計図書に適合している。 ☐ 機器(ポンプ、送風機等)、その架台などの仕様・数量に問題がない。 ☐ 機器、その架台などの取り付け方法が適切である。 ☐ 貫通部の処理など、他との接点部分の施工が適切に行われている。 ☐ 塗装・防錆などの仕様・施工箇所及び範囲が適切である。 ☐ 外部から明視できない部分の出来形を、写真その他記録等で確認できる。 ☐ 漏水・異音・異常振動・保守不能など機能を損なうような異常がない。 ☐ 完了時総合試運転における試験、機能確認内容が、現場状況と一致している。 ☐ 諸官庁検査のあるものは、検査を受け合格している。 ☐ 付属品・納入品が用意されており、リストが過不足なく作成されている。 ☐ 補修(交換部品等)内容や改良部分が設計図書に適合しており、処置も適切である。 ☐ ()
		評定点 / × 100 = 点
工管	出来ばえ	☐ 使用者に対する安全性などに配慮がされている。 ☐ 運転操作、使い勝手に配慮がされている。 ☐ 耐久性及び機器などの更新が配慮がされている。 ☐ 保守・修繕・消耗品・部品取替などへの配慮がされている。 ☐ 細部に至るまで仕上がり状態は良好である。 ☐ 機器・器具の収まりがよく、他との整合が取れている。 ☐ 配管・ダクト・電路などの配置が適切で、収まり上無理がなく、他との整合が取れている。 ☐ 施工に統一性が見られ、ばらつきがない。 ☐ 表示・標識等が適切にされている。 ☐ 騒音・振動などが少なく、円滑な運転が確保されている。 ☐ 施工済み部分の養生が適切である。 ☐ 出来ばえの向上のための、創意工夫がみられる。 ☐ () ☐ () ☐ () ☐ ()
		評定点 / × 100 = 点

- 備考 1 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 2 評定点は、下記の算式により算出する(小数点以下第二位を四捨五入)。
 (評価した項目の得点合計)/(評価した項目数×3)×100
- 3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
- 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。